

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : 金属火災用消火薬剤 ナトレックスN
 整理番号 : DC-NATN-001(4)
 会社名 : 日本ドライケミカル株式会社
 住所 : 〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー
 担当部門 : 技術本部
 電話番号・FAX : TEL 03-5815-5025 FAX 03-3822-9770

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(吸入)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2(皮膚刺激性)
	眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分 1(眼に対する重篤な損傷)
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(臓器)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(臓器)

上記以外の項目については、区分に該当しない、又は分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険、警告
 危険有害性情報 : H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
 注意書き :

安全対策

- P201 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- P260 粉じんを吸入しないこと。
- P261 粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- P264 取扱った後、手を洗うこと。
- P270 この製品を使用するときには飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。

応急処置

- P301 飲み込んだ場合: 医師に連絡すること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351+P338 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P310 直ちに医師へ連絡すること。
- P312 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。
- P321 特別な処置が必要である(このラベルの 4. 応急処置を見よ)
- P330 口をすすぐこと。
- P332 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察手当を受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 保管 P404 閉容器に保管すること。
- P405 施錠して保管すること。
- 廃棄 P501 内容物/容器等は、関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物(主成分: 炭酸ナトリウム)

化学名	含有率(重量%)	CAS No.
炭酸ナトリウム	50~60	497-19-8
炭酸カリウム	15~25	584-08-7
炭酸リチウム	15~25	554-13-2
二酸化珪素	10 未満	112926-00-8 7631-86-9

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場所に移動させ、安静にする。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼水で洗浄し、多量の水でよく洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で 15 分以上洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で良く口の中を洗浄し水を大量に飲ませ医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本製品は消火剤であり不燃性である
- 使ってはならない消火剤 : 本製品は消火剤であり不燃性である

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡、保護服等を着用し、飛散物等が皮膚に付着したり吸入したりしないようにする。

環境に対する注意事項

- : 飛散拡大防止措置を図り、回収する。また、薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起こさないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : 飛散した粉末は、掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策及び注意事項 : 取扱いは換気のよい場所で行う。
- 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
- 取扱いの都度、容器を密閉する。
- 粉塵を吸入したり、眼に入らないようにする。
- 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 安全な保管条件 : 雨水、直射日光があたらないように保管する。

通気のよい場所で容器を密閉し保管する。使用温度範囲内の場所に保管する。

安全な容器包装材料 : 専用容器のみ使用すること(該当する消火器及び薬剤缶)。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 局所排気装置(粉塵が発生する場合)
保護具 呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具(マスク)
手の保護具	: 保護手袋(ゴム、ビニール等の材質のもの)
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体(粉末)
色	: 淡黄色
臭い	: データなし
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: なし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: なし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし(撥水性あり)
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 見掛比重 0.6~0.8
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 企業秘密

10. 安定性及び反応性

反応性	: 酸と反応して炭酸ガスを発生する
化学的安定性	: 常温で安定だが、長時間空気に触れると吸湿する
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高湿度環境下・直射日光・雨水など
混触危険物質	: 酸性物質を避ける
危険有害な分解生成物	: 炭酸ガス

11. 有害性情報

急性毒性	: 区分 4(経口、気体、蒸気、粉じん及びミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2(皮膚刺激性)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1(眼に対する重篤な損傷)
呼吸器感作性または皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分 1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 2(臓器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 2(臓器)
 誤えん有害性 : 区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 : 分類できない
 残留性・分解性 : 分類できない
 生体蓄積性 : 分類できない
 土壌中の移動性 : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法規、地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。
 汚染容器・包装 : 内容物を完全に除去した後に、残余廃棄物と同様、適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
 国連番号 : 非該当(金属火災用消火器具に充填した場合は UN1044)
 品名 : 非該当(金属火災用消火器具に充填した場合は 消火器)
 国連分類 : 非該当(金属火災用消火器具に充填した場合は 2.2)
 容器等級 : 非該当
 海洋汚染物質 : データなし
 国内規制 : 陸上規制情報 消防法に従う
 : 航空規制情報 航空法に従う
 : 海上規制情報 船舶安全法に従う

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 容器が密栓されていることを確認する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 第 57 条の 2(施行令第 18 条の 2)名称等を通知すべき有害物
 非該当
 [参考]厚生労働省令第 121 号「労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行令
 について」(令和 5 年 9 月 29 日)の施行後に対象となる物質
 炭酸ナトリウム[No.1189](施行日: 令和 7 年 4 月 1 日)
 炭酸カリウム[No.1185](施行日: 令和 8 年 4 月 1 日)
 炭酸リチウム[No.1192](施行日: 令和 6 年 4 月 1 日)
 二酸化珪素[No.1568](施行日: 令和 8 年 4 月 1 日)
 ※当社薬剤内の二酸化珪素については、非晶質のみを使用しております。
 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)
 : 第一種特定化学物質
 炭酸リチウム[管理番号:1-281]
 毒物劇物取締法 : 非該当
 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
 : 非該当

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、JIS Z 7252/7253:2019 に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、弊社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。